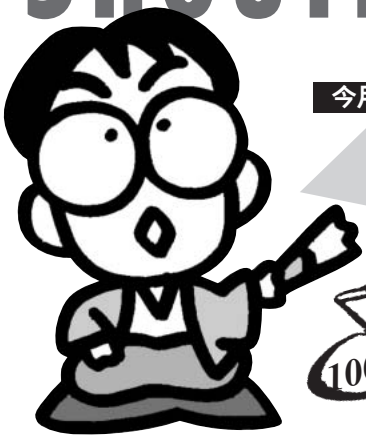


# We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

**Let's Access!!**

## Shouting!



**今月の高座**

欧米では図書館でインターネットを使えるという話を聞いていた私は、今年の夏に、オーストラリアの図書館をいくつか訪ねてみました。メルボルンとプリズペーンの州立図書館では、外国人の私さえ、無料でコンピュータを使うことができました。アデレードの州立図書館では、先客がいたので私自身は使えませんが、コンピュータを使っている

人がいました。図書館は情報を市民に提供していく場所です。最近はビデオを置いてあるのが普通になってきました。インターネット端末を置いてもおかしくないと思います。もし、インストールなどの技術的なことが問題だったら、私自身、喜んで手伝います。図書館関係の方、がんばって下さい。

(Uchida Masatomo さん)



**Yuji Sasaki  
さんの意見**

近所の図書館でインターネットを来館者に開放する予定があります。館長さんに話を聞いたら、地元のプロバイダーとISDN64で接続して(7月に接続済み)、子供、大人を制限せずにインターネットに興味を持っている人が自由に使用できるように考えているそうです。こういう考え方ってすばらしいよね。もっと誰でも自由に利用できる場所が増えるといいと思います。外国では無料で自由に使用できる公共の場所ってあるのかな?



**編集部**

日本ではインターネットカフェや企業のショールームでインターネットを自由に使うことはできますが、公共の施設となると、まだほとんではないのが現状です。ただ、一部の郵便局などではインターネットが利用できるので、近くにある人はぜひ行ってみましょう。図書館などで、お年寄りから子どもまでみんなが自由にインターネットを使えるようになれば、インターネットビブルが増えて楽しいでしょうね。



# Chatting!

## 声を聞かせて

カメラは無いけど、CU-SeeMeってどんなモノか試していました。初めてチャットのボタンを押して会話を見ていたら、突然「Hello Yuji」、私のことかな? 半信半疑でしたが、「Hello」とタイプインすると、今度は「Are you a Japanese?」と聞いてきたので、「Yes Japanese」と答えました。その後すぐに、「I can't speak English」で抜けてしまいました。あ〜ビックリ。その10分後、怖いもの見たさで再度接続すると、今度は、日本人より「Hi Sasaki」。この人ならと、日本語英語でやりとりしていたら、なんと、同じ栃木県人でした。こんな広いインターネットの世界なのに、なんて偶然なのでしょう。この後すぐにメールを出して友達になりました。



私はインターネットを始めてまだ8か月ですが、粘りと努力の世界だと思います。高倉健

の「おっ! 簡単! ちゅ!」っていうテレビCMを見て、会社で買ってその日に壊したり、マニュアルで挫折してそのままという連中が何人もいます。かくいう私も次々に遭遇する難問に、まだ冷や冷やししながらアクセスしており、貴誌をスミからスミまで読んで「出てないなあ」と溜息をつくことが多いんです。これがSDNにすぐ飛び込めない予算以外の大きな理由です。



インプレスのWWWサーバーにも検索サービスへのリンク集がありますが、アメリカと日本のサービスしかありませんね。たぶんほかの国(アジア各国とか)にもその国に対応した検索サービスがあると思うのですが、一度もそれらしいものを見たことがありません。せっかくUW-DBM4を導入したので、中国や韓国の

ページを見てみたいと思っているのですが。



10月号257ページの「コラム英語で作るホームページ」の記事に大変興味を持ちました。ぜひ特集を組んでほしいですね。私は、外国のバンドのページをマネージメントに承諾を得て公開しています。しかしながら、私の英語が下手なせいか意味が通じないらしく、アクセス数もあまり上がりません(苦笑)。これからも英語でコミュニケーションを取れるように続けていくつもりですが、参考になるものがまだまだ少ないような気がします。



## 投稿大募集

We Love Internet Peopleのコーナーでは読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。

### Shouting!

・声を大にして言いたいこと

### Chatting!

・あなたのインターネット体験記

読者が作るイエローページ

・お気に入りのWWW情報

・あなたのホームページのPR

このほか、新企画へ向けて次のテーマの投稿を歓迎しています。

### ①猫も杓子もインターネット

ブームゆえに、何でもインターネットに強引に結びつける世の中になりました。「え、これもインターネット対応なの?」とあなたがびっくりしたものの情報を送ってください。デジタルカメラで撮影したビジュアル投稿も受け付けています。本文に画像ファイルを添付してお送りください。

### ②インターネットビジネスのアイデア

インターネットでこんなものを売ったらどうだろうか、こんなビジネスをインターネットでやりたいんだけど・・・とアイデアが浮かんだら、企画書にまとめて送ってください。実現可能かどうか考えます。

### ③すばらしき翻訳の世界

ネットサーフィン中、WWWの翻訳ソフトを使っているなら1度は体験している、見ごとな翻訳結果。とても人間にはマネできない、すばらしいポキャブラリーの数々。ぜひ紹介したいという翻訳結果に遭遇したら、お使いの翻訳ソフト、翻訳したページのURL、その原文と結果を詳しく書いて送ってください。

宛先メールアドレスは

**ip-box@impress.co.jp**

投稿文にはダイレクトプラスを発行します。詳しくは334ページをご覧ください。

## 「バーチャル国会」の開催を目指す

友行 信さん



1968年生まれの27歳

Q: 「Internet市民革命」のページを始めようと思ったのは、どんなきっかけからですか。

友行: 3年ほど前、大学生の頃ですけど、弟にすすめられてニフティサーブを始めました。ニュースはお金がかかるので、フォーラムが中心だったのですが、あちこち見て驚いたのは、みんなけっこう専門的な知識を持っていて、個人の意見の積み重ねでかなり高度な話になっていることでした。これはすごいツールだなと思いました。インターネットはベッコアメで安くできるようになって、去年の2月くらいから始めたんですが、インターネットを政治にうまく使おうというページが皆無なんです。ぼくは党の職員ということもあって、どうしても政治のほうに頭が行って、インターネットでお金を儲けるようにするのもいいけどこれを使えばいろんな人の意見を聞いたり議論したりできるんじゃないかと考えたんです。

Q: それで、「バーチャル国会」を提唱する「Internet市民革命」というページを作ったんですね。

友行: 直接のきっかけは、この間の参議院選挙です。投票率が44.5%で、投票に

行かない人が55.5%もいた。最初は、有権者が権利を行使する機会はこのときしかないのに、どうして行かないんだと怒りました。しかし、そのあとしばらく考えてみると、どうせ選挙に行ったら何も変わらないんじゃないかという空気が蔓延しているんじゃないか、みんなしらけているんじゃないかと思えてきたんです。たとえば、僕は原発反対ではないから原発賛成の人に投票したとします。しかし、参議院なら6年、衆議院でも3年か4年の間にはいろんなことが起こる。医療保険についてはどうか、消費税はどうか、選んだ人が必ずしも自分の意見を反映するかどうかわからない。今の代議員制は有権者の意見が反映されにくいシステムになってしまっているんです。

Q: そこで、力を発揮するのがインターネットを使った「バーチャル国会」というわけですね。

友行: インターネットを使った国会といっても、イエス、ノーを全員の投票で決めるということではないんです。みんながいろんな意見や情報を持ち寄りながら、意見の集約を行っていくような場所をインターネット上に作りたい。イエス、ノーの住民投

票なら今でもできますけど、インターネットはもっと高度な使い方ができるはずですよ。政策に関する情報も今は報道機関が提供する情報がほとんどですが、インターネットを使えばもっと広く情報を伝えることができますと思います。

Q: 京都大学の工学部を卒業したそうですが、政治の世界に入ったのはどんな理由なんですか。

友行: 大学生のときに日本新党ができて入党しました。応援した人が国会議員になって、その人の紹介で94年4月に日本新党の本部に職員として入りました。大学では有機化学を専攻していたんだけど、どうも興味が持てなくて、そのときに応援した日本新党には共感できたんです。その後の政界再編の波で私も党を移りましたが、今は政策審議会で行政改革の担当をしています。ただし、「バーチャル市民革命」のページは党とは全く関係ありません。私が個人的に始めたページです。

Q: 弟さんからすすめられてニフティを始めたということですが、もう少し詳しく教えてください。  
 友行: その頃はパソコンとかパソコン通信なんてオタクがやるものだと思っていました。東京にいる弟から電話がかかってきて、すごい時代になっているんだよと言われて、そんなオタクみたいなことをやっていたら立派な社会人になれないぞ、いったい何やっているんだと逆に説得しようとしたんです。そうしたら弟は東京から京都まで来て24時間かかって説得されて、翌日に銀行で30万円おろして大阪の日本橋に行き、そこで98ノートのNS/Rを買いました。それからベッコアメに入ってインターネットを始めたときに、エプソンのPC-586MVを買いました。

Q: インターネットを始めた頃はどんなふうに使っていましたか。

友行: 最初はネットサーフィンというんですか、あちこちいろいろ見ていました。その頃は国内では個人のページはまだ少なかったし、企業もそんなに出していませんでしたから、国内のページは網羅的に見ていたと思います。英語が得意じゃないので、外国のページに面白そうなのもあるんだけど、何が書いてあるかわからないので、どうもだめなんです。今は自宅にもISDNを入れています。始めた頃は14400bpsで遅かったの、風呂に入って出てきてもまだ読み込んでいて。それから食事してお酒を飲んで酔いが回った頃にやっと見れたなんてこともありましたね。

Q: 「Internet市民革命」のページは、政党や議員のホームページへのリンクも充実していますね。

友行: インターネットを始めた頃は何で政治関係はこんなに少ないんだろと思っていました。あっても今のマスコミみたいに一方的な垂れ流しみたいな感じのところが多くて、みんなの意見を聞いたり自分の考えを出していけるようなところがなかった。最近は代議士でもホームページを出す人が



Internet市民革命  
 URL <http://www.bekkoame.or.jp/~citizen/>

増えてきています。「Internet市民革命」の載っているリンクで政治関係はほとんど網羅していると思います。インターネットだけじゃなくて、電話をかけて調べたりしていますから。

Q: 今はページで友行さんの意見を掲載したりしている状態ですが、バーチャル国会というのはいつ頃スタートできそうですか。

友行: なるべく早く始めようと努力しているんですけど、まずは賛同者を募っている状況です。まだ私のほかは1人だけですが、これからほしい仲間は、英語に翻訳してくれる人、デザインセンスのある人、コンテンツと一緒に作ってくれる人、プログラムまでできてシステムをきちんと作ってくれる人です。各々の才能を持ち寄りながら、目標に向かってがんばればいよいよかなと思っています。

Q: インターネットはまだ利用している人が少ないし、年代や職業もかたよっているから、賛同者を集めるのは大変ですね。

友行: 政治に興味を持っている人もたくさんいると思いますし、インターネットの利



用者もどんどん増えていきますけど、重なるところがまだまだ少ないようですね。政治に携わる人の中でも、上のほうに行くと、インターネットと言っても何だかわからない人がいっぱいいる。説明したって、宇宙人が来て言っているようなものなので、話すよりも、「Internet市民革命」のページでやっていこうと思っています。こういう試みは発展していくはずですし、発展させていくつもりです。昔は代議制でもよかったんだけど、有権者の興味も意見も利益もばらばらになって、代議制では対応できなくなっている。「バーチャル国会」というのは、全員が議員になって、自分の得意分野で参加して、発言もするし責任も持つというシステムです。

Q: タイトルどおり、世の中のシステム全体を変えるような革命的な試みなんですね。

友行: インターネットを政治に活用することがどんなことか、まだ気づいていない人が多いので、静かに始めて、気づきだした頃にはもう後戻りできないようなものまで作っておきたいですね。そのために、たくさんの人に協力してもらいたい。どんな政党を支持する人でも、どんな宗教団体の人でも、連帯できる人には参加してもらいたいです。それに、大学の研究室とかにも協力してサーバーの立ち上げなんかと一緒にやってもらえるとありがたいんですけど。

(取材・文/鈴木康之)

# Net Surfing!

読者が作るイエローページ

今月からこのコーナーも、採用分は50,000プラスのポイントが発行されます。  
豪華賞品めざしてダイレクトプラスを集めましょう!

## だまし絵のホームページ

**URL** <http://lainet3.lainet.com/ausbourn/>  
「少女と老婆」や「平行に見えない平行線」のような古典的なものからCGを使った実現不可能な3次元物体などいろいろあります。どのイラストもけっこう軽いのでモデムでつないでいてもサクサクいけます。私の一番のお気に入りには「The Devil's Fork」という設計図ですが、注意事項を1つ。「Color Illusions」のコーナーはカラーモニターで見てください。私は白黒4階調の液晶で見てさっぱりわかりませんでした。あと、ここから、カード、本、ゲームなどの通信販売ページにも行けます。(藤本幸生)



## いたずら倶楽部

**URL** <http://www.yo.rim.or.jp/sasaki/>  
訪問者からの投稿で成り立っているページです。可愛いいたずらから、恐ろしいものまでたくさん人間模様が浮かび上がっています。とにかく笑えます。(nakajima)



## 気象情報の雨アラレ

**URL** <http://www.ibcweb.co.jp/>  
気象庁に通う友人が教えてくれました。本当はここまで出しているのかというほどのページだそうです。確かに24時間後の予想天気図やジェット気流情報図などの気象情報が満載です。旅行などの前に見ては? 本当は農業用に提供されているようです。



## 自薦サイトコーナー

### 漆器職人のこだわり

**URL** <http://www.nsknet.or.jp/urusi/>  
プレゼントに最適な、素敵で「器」を工房で紹介しています。作品の制作過程をネット上で公開した職人ならではのページです。職人の目でひろった美術館情報や本などの紹介もあります。複雑な流通形態の中ではこだわりの

## バーチャル田んぼ通信 ③

### 落雷でついにカメラがダウン

**URL** <http://www.mmjp.or.jp/tambo/>



かわいい、イネの穂が顔をのぞかせました。花が咲くのもうすぐです。

はしていたのですが、なんせ低予算。無停電電源装置をおごらなかつたことを後悔しても時すでに遅しです(みな様ご迷惑をおかけし



だまし絵のホームページ  
このような「だまし絵」がたくさん

物作りが困難になってきていますが、インターネットの双方向性を生かして使い手と作り手のこだわりを伝えることにチャレンジしたいと思っています。



## 島に住む動物たちのおしゃべり

**URL** <http://www.xtown.com/island/>

「はなれこじまキッキ」は、インターネット上に浮かぶ孤島です。そこには、いろいろな動物が住んでいます。サルのキッキモン、世界を旅するのが好きなタコのダータ、メッセージを運ぶ青い鳥のドリ、おしゃべりな赤い鳥のソリ、そして海賊アッコナムたちが話を展開していきます。小さい子が読めるように、すべて平仮名で記述しています。できるだけ画像を軽くして、高速性を保っています。サルにだまされたと思って、ぜひ一度お立ち寄りください。



全国的なお盆の大移動が終わり、世間はいつものリズムをとり戻したようで、街は相変わらず大阪名物の駐車違反の車であふれかえっています。田んぼでは虫の声もそこはかと秋らしくなって、夕方には田を渡る風も涼しくなってきました。

「落雷のため停電があり、復旧後カメラに何も映っていませんよ」

8月28日の午後龍野から電話がありました。

「ウウッ、ついに一番心配していたことがやってきた」

あわててホームページを見ると、案の定画像は13時でとまったままです。6月23日以来、1日も休まず画像を送ってきたカメラがついにダウン。夏の落雷による停電を予想

ましたことを紙面を借りてお詫びします。

しかし、満作君(先月名付けた稲の1株)たちはそんな人間達の勝手なざわつきとは全く無関係にぐんぐんと背丈を伸ばし、停電騒ぎで龍野に向かったおかげで、小さいながらも穂が出ていることを発見して嬉しくなっていました。濃い緑色の葉の隙間から、規則正しくきっちりと並んだ緑色の初々しい穂が顔を覗かせる様子がなんとなく恥ずかしげに見えるのは、田植えをしたものの親心でしょうか。聞くところによると、わが「バーチャル田んぼ」は例年より背も高く、はや豊作のムードがあるとのこと。ご近所の農家の方からも「さすが手植え」とお褒めの言葉をいただき、帰りの車中で田植えの苦勞が今さらながら楽しくよみがえってくるのでした。(石川 小次)

番外編

8月の結果報告

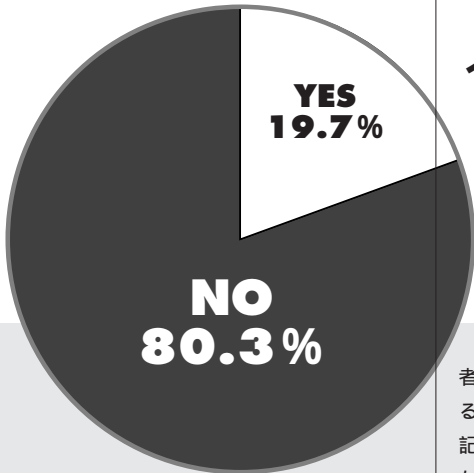
### インターネットマガジンの内容は難しいですか？

**Yes** もっと初心者にはやさしい解説をするべきだ。

**No** 初心者向けより高度でつまんだ内容を望む。

8月はいつもの「世論調査」を一休みして、本誌の感想を聞いてみました。このほかの意見はインターネットでご覧ください。

**URL** <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



私のように超初心者で、WWWを見ることだけにインターネットを使用してる人にとって、貴誌の内容はけっこう難しいです。ただ、わからないままとにかく通読して、数をこなしていくうちにわかっていくということがあるので、特にレベルを落とす必要はないと思います。こういう雑誌が1つくらいあってもいいでしょう。

(女性 33歳 会社員)

高度な内容を望むのであれば、専門書や専門雑誌を購入すればいいのではないのでしょうか。初心者に対する配慮は重要だと思います。

(男性 21歳 公務員)

インターネットの総合的な雑誌として初心者にもわかりやすい誌面構成にしてほしい。ある程度の経験者にとってはどうでもいいような記事でも、パソコンを昨日買った人などはまったく理解することができないので、そういう人たちに理解しやすいインターネットの総合的な雑誌にしてほしい。

(男性 28歳 会社員)

いつも楽しく拝見させていただいています。ここ1年ほどの間でインターネットも大変メジャー(?)になってきましたね。私個人としては、今のままのレベルで十分だと思うのですが、これから始めてみようという人にはちょっと難しいかなという印象があります。初心者にも、経験を積んだ人にも楽しめるような内容を期待しています。

(男性 30歳 会社員)

もう少し初心者でもわかるように、かみくだいて説明してほしいです。

(男性 38歳 医師)

まだインターネットを始めてから間もないため、インターネット独特の用語にも慣れていない。そのような用語やネットスケープなどツールの使い方にページを割いていただけるとありがたいです。

(男性 27歳 会社員)

雑誌を作る場合、ターゲットをどこに置くかは、困難かつ重要な問題です。私はまだ初心者なので内容が100%理解とはいきませんが、理解度がじわじわ上がってきているのを感じ、それにも満足しています。所詮1冊で初級から上級までは無理だし、少し難しそうと思っても「質」のよさを感じているので私は買っています。

(女性 36歳 主婦)

### YES の意見から

インターネットに関する初心者向けの雑誌は多々あるけれど、インターネットマガジンには高度な内容を期待している。

(男性 19歳 学生)

難しいと感じたことはありませんが、FAQをインプレスのサーバーに常時置いてください。私はこの頃、用語などを人から聞かれることが多いのでFAQがあれば助かりますし、聞いてきた人のためにもなるのでよろしくお願ひします。

(男性 31歳 会社員)

特集記事の内容が薄いです。もっとつまんだ内容を希望します。

(男性 35歳 会社員)

私は全然難しいとは思いません。それよりも、毎月巻末についてくる、話中程度の調査な

### NO の意見から

ど、「他の雑誌じゃ絶対できない」内容が増えてくれると、さすがインプレスじゃの、という感じで楽しみです。これからも、インプレスじゃなきゃできないような内容を増やしてください。お願いします。

(男性 21歳 学生)

プロバイダーを運営していますが、運営上のノウハウなどの記事がもっとあってもよいと思います。これは、プロバイダーに加入されている方にとっても非常に興味があると思いますし、もっとプロバイダー同士の交流があってもいいかも…。

(男性 27歳 会社員)

初心者向けと中級者以上向けで媒体を分けるべき。もう、その時期に来ていると思う。

(男性 36歳 テクニカルライター)

法律問題などコンピュータ以外の記事が多いのが好感がもてます。初心者向けの設定からプロバイダーの詳細リストなどデータのな記事が豊富などところも好きです。

(男性 28歳 設計)

WWWサーバー上で実施している「インターネットマガジン世論調査」は、さまざまな時事問題についてより多くの人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、毎月さまざまなテーマを設けてインターネットビープルの皆さんの意見を伺っています。読者の皆さんからの取り上げてほしいテーマも受け付けています。

宛先 ip-box@impress.co.jp

次のテーマ(予定) 国内の麻薬取り締まりは十分か?



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)